

# 宮 城 県 の 経 済 動 向

平 成 2 1 年 第 1 四 半 期

( 1 月 ~ 3 月 期 )

## 本県の経済概況

平成 21 年第 1 四半期（1 月～3 月期）の宮城県経済の動向をみると、生産は、急速に低下している。住宅投資は、低調である。公共投資は、増加となった。個人消費は、弱まっている。雇用は、厳しさを増している。企業倒産は、件数、負債総額ともに減少となった。

このように、景気は悪化している。

[ 前期（平成 20 年 10 月～12 月期）の概況 ]

生産は、急速に低下している。住宅投資は、低調である。公共投資は、低調である。個人消費は、低調である。雇用は、厳しい状況となっている。企業倒産は、件数、負債総額ともに減少となった。

このように、景気は停滞し厳しさを増している。

### 生 産

鉱工業生産指数は、前年同期比が 2 期連続の低下となった。大口電力使用量は、前年同期比が 3 期連続の減少となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同期比が持家は 2 期ぶりに増加、貸家は 9 期連続の減少、分譲住宅は 3 期ぶりに減少となった。

全体では 7 期連続の減少となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の発注主体別の前年同月比は、国、県、市町村がそれぞれ 2 期ぶりに増加となった。

全体でも 2 期ぶりに増加となった。

### 大型小売店

大型小売店販売額（百貨店・スーパーの販売額の合計。既存店比較）は、前年同期比が 38 期連続の減少となった。百貨店は前年同期比が 4 期連続の減少となった。スーパーは前年同期比が 38 期連続の減少となった。

### 自 動 車

軽自動車の新車届出台数を含む乗用車新車登録台数は、前年同期比が 9 期連続の減少となった。普通車は前年同期比が 3 期連続の減少、小型車は前年同期比が 2 期連続の減少、軽自動車は前年同期比が 3 期ぶりに減少となった。

### 物 価

仙台市消費者物価指数は、総合指数は、前年同期比が 7 期ぶりに低下となった。生鮮食品を除く総合指数は、前年同期比が 8 期ぶりに低下となった。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、4 期連続の低下となった。

### 雇 用

有効求人倍率（原指数）は、前年同期差が 6 期連続の低下となった。新規求人倍率（原指数）は、前年同期差が 7 期連続の低下となった。

実質賃金指数（製造業・30 人以上）は、前年同期比が 10 期ぶりに低下となった。

### 企業倒産

企業倒産は、件数は前年同期が 2 期連続の減少となった。負債総額は前年同月比が 2 期連続の減少となった。

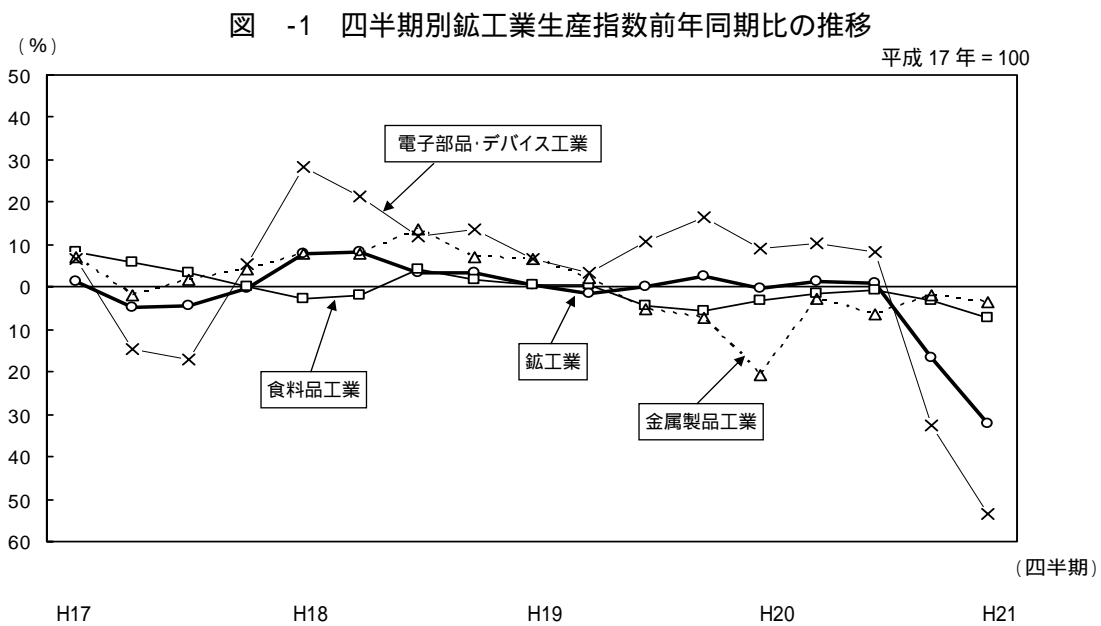
# 生産

## (1) 鉱工業生産指数

平成 21 年第 1 四半期(1月～3月期)の鉱工業生産指数(季節調整済)は 72.5(平成 17 年 = 100)で、前年同期比(原指数での比較)が 32.0%の低下となり、2期連続の低下となった。

ウェイトの大きい業種を中心にみると、電子部品・デバイス工業は前年同期比が 53.3%の低下となり、2期連続の低下となった。食料品工業は前年同期比が 7.4%の低下となり、7期連続の低下となった。金属製品工業は前年同期比が 3.7%の低下となり、7期連続の低下となった。パルプ・紙・紙加工品工業は前年同期比が 23.0%の低下となり、2期連続の低下となった。

一方で、電気機械工業は前年同期比が 3.4%の上昇となり、3期連続の上昇となった。



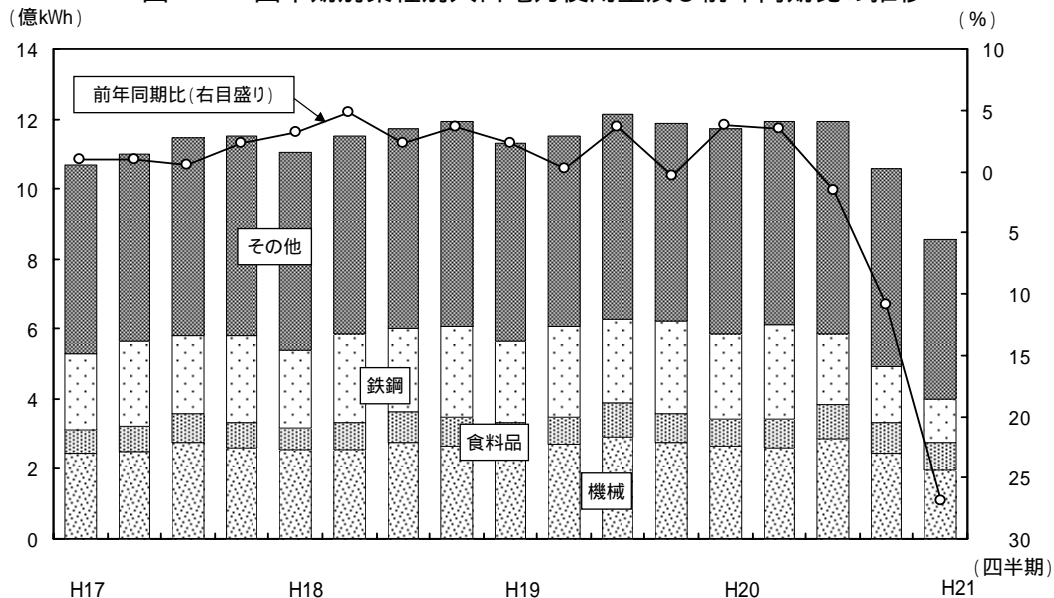
(資料:宮城県統計課)

## (2) 大口電力使用量

平成21年第1四半期(1月～3月期)の大口電力(契約電力500KW以上)使用量は8億5,747万 kWhで、前年同期比が26.8%の減少となり、3期連続の減少となった。

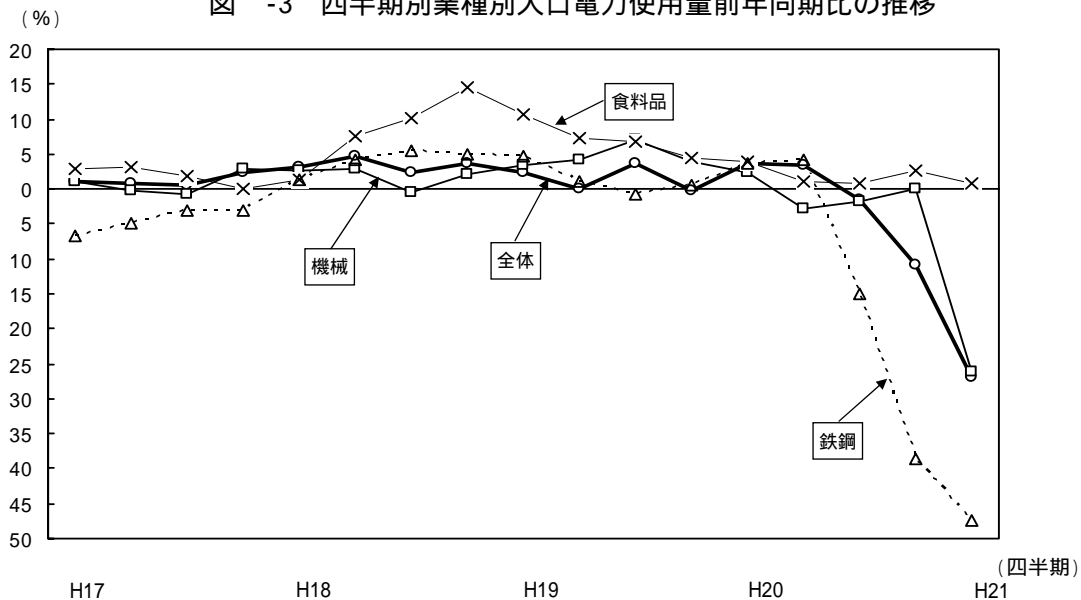
主要業種別にみると、食料品分野は前年同期比が0.8%の増加となり、平成16年第3四半期以降、19期連続の増加となった。機械分野は前年同期比が26.1%の減少となり、4期連続の減少となった。鉄鋼分野は前年同期比が47.5%の減少となり、3期連続の減少となった。

図 -2 四半期別業種別大口電力使用量及び前年同期比の推移



(資料: (株)東北電力宮城支店「業務資料」)

図 -3 四半期別業種別大口電力使用量前年同期比の推移



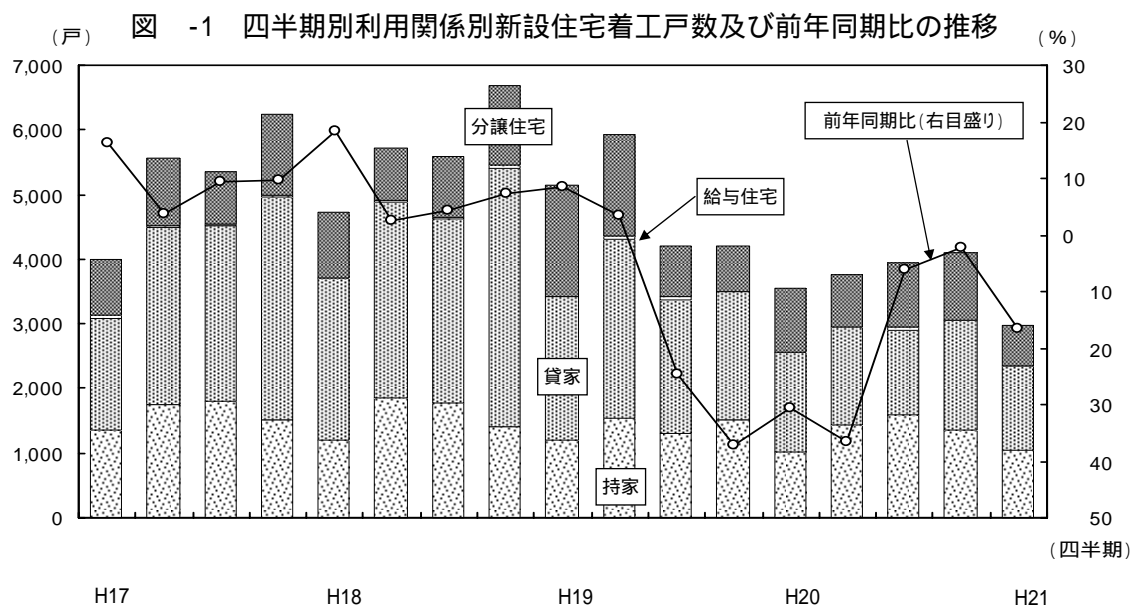
(資料: (株)東北電力宮城支店)

# 建設投資

## (1) 新設住宅着工戸数

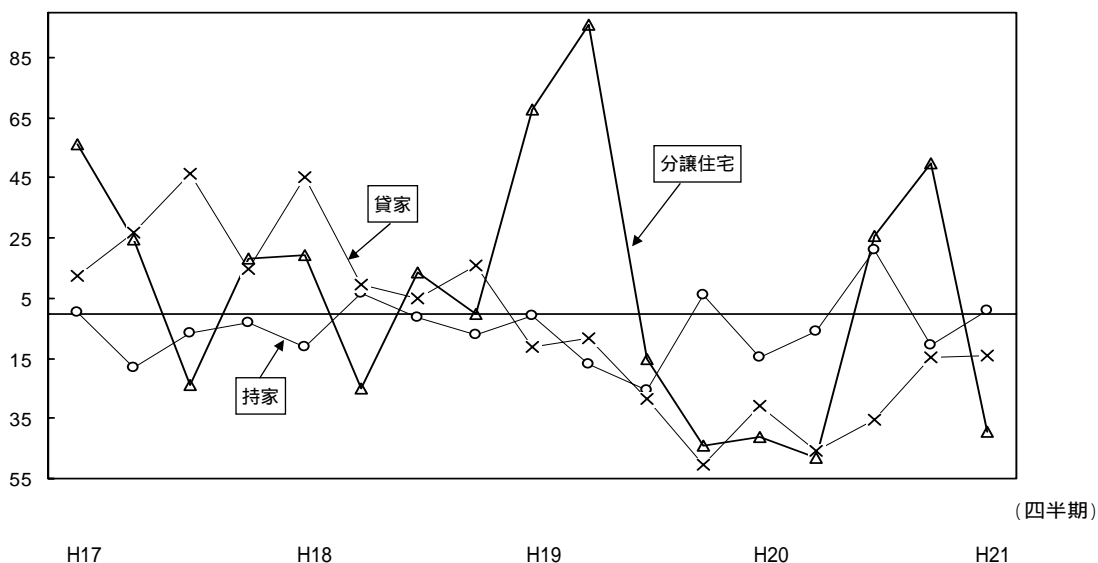
平成21年第1四半期(1月～3月期)の新設住宅着工戸数は2,966戸で、前年同期比が16.7%の減少となり、7期連続の減少となった。

利用関係別にみると、持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が0.7%の増加となり、2期ぶりに増加となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が14.0%の減少となり、9連続の減少となった。分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が39.5%の減少となり、3期ぶりに減少となった。



(資料:国土交通省)

図 -2 四半期別利用関係別新設住宅着工戸数前年同期比の推移

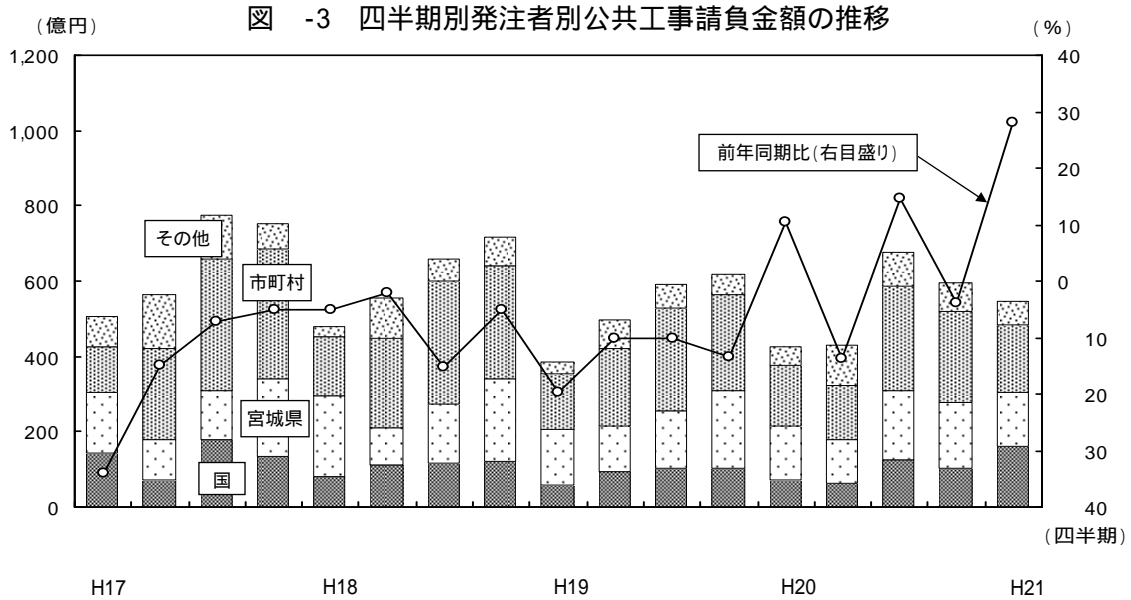


(資料:国土交通省)

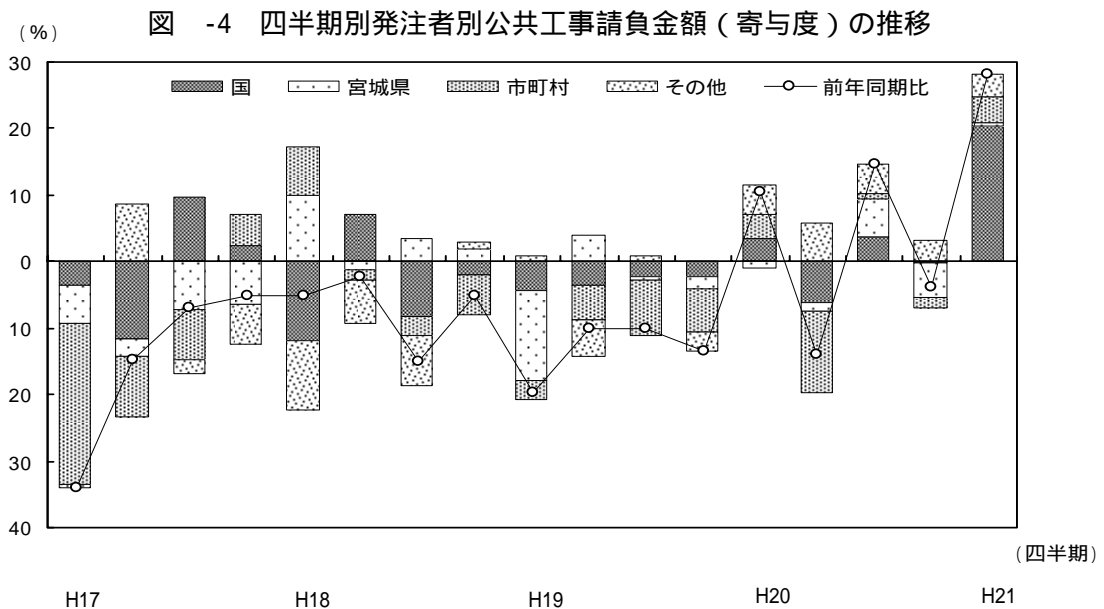
## (2) 公共工事請負金額

平成21年第1四半期(1月～3月期)の公共工事請負金額は546億7,700万円で、前年同期比が28.1%の増加となり、2期ぶりに増加となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が119.3%の増加となり、2期ぶりに増加となった。宮城県は前年同期比が1.2%の増加となり、2期ぶりに増加となった。市町村は前年同期比が10.5%の増加となり、2期ぶりに増加となった。



(資料:東日本建設業保証(株))



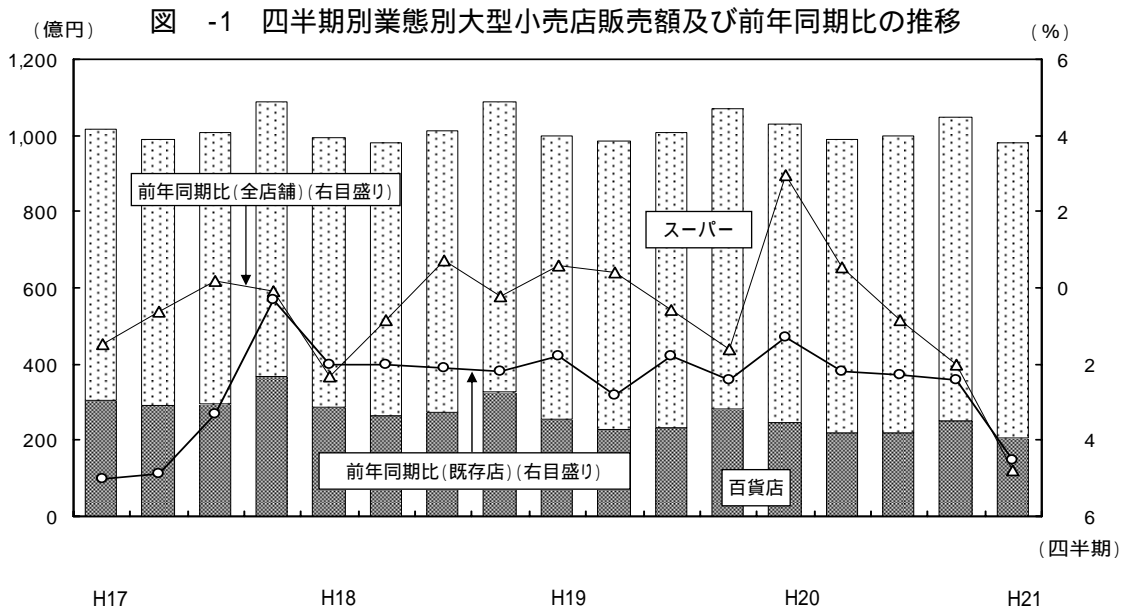
(資料:東日本建設業保証(株))

# 個人消費

## (1) 大型小売店販売額

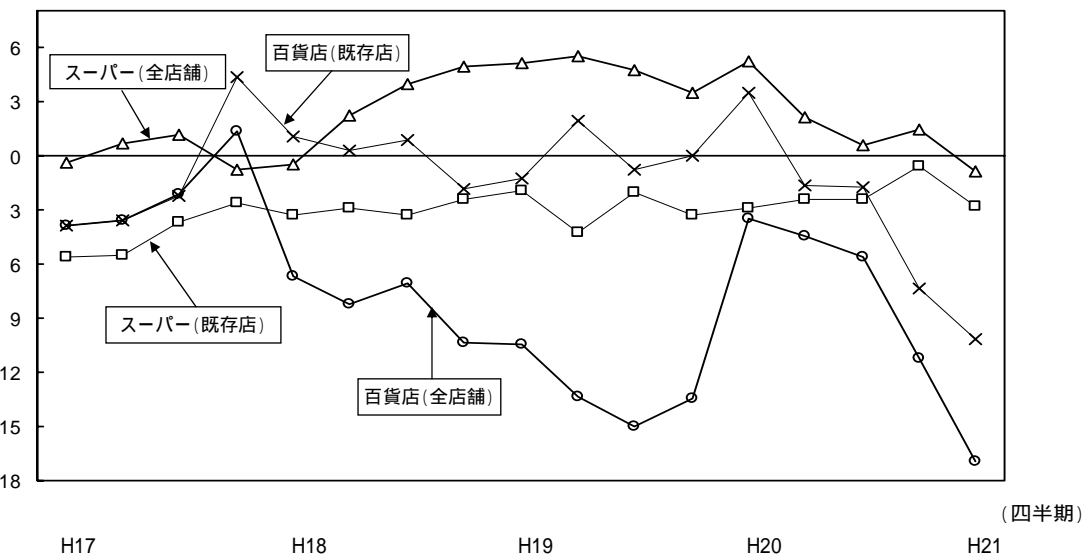
平成21年第1四半期(1月～3月期)の大型小売店販売額は、979億5,600万円で、前年同期比(既存店比較)が4.5%の減少となり、平成11年第4四半期以降、38期連続の減少となった。

業態別にみると、百貨店の販売額は204億8,000万円で、前年同期比(既存店比較)が10.2%の減少となり、4期連続の減少となった。スーパーの販売額は774億7,500万円で、前年同期比(既存店比較)が2.8%の減少となり、平成11年第4四半期以降、38期連続の減少となった。全店舗比較では前年同期比が0.9%の減少となり、12期ぶりに減少となった。



(資料:東北経済産業局)

図 -2 四半期別業態別大型小売店販売額前年同期比(全店舗、既存店比較)の推移

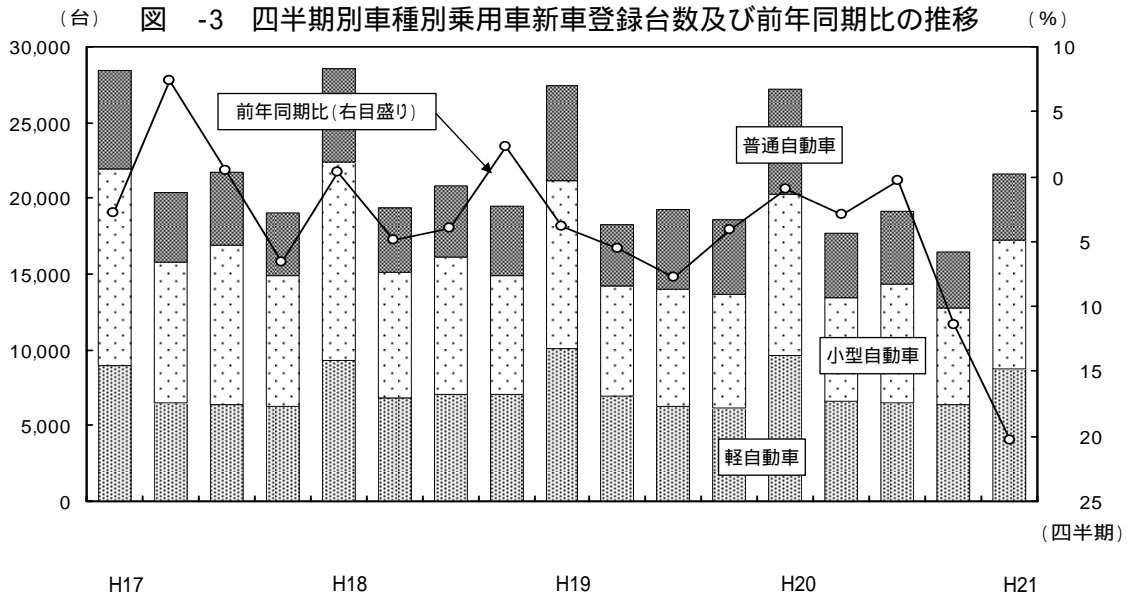


(資料:東北経済産業局)

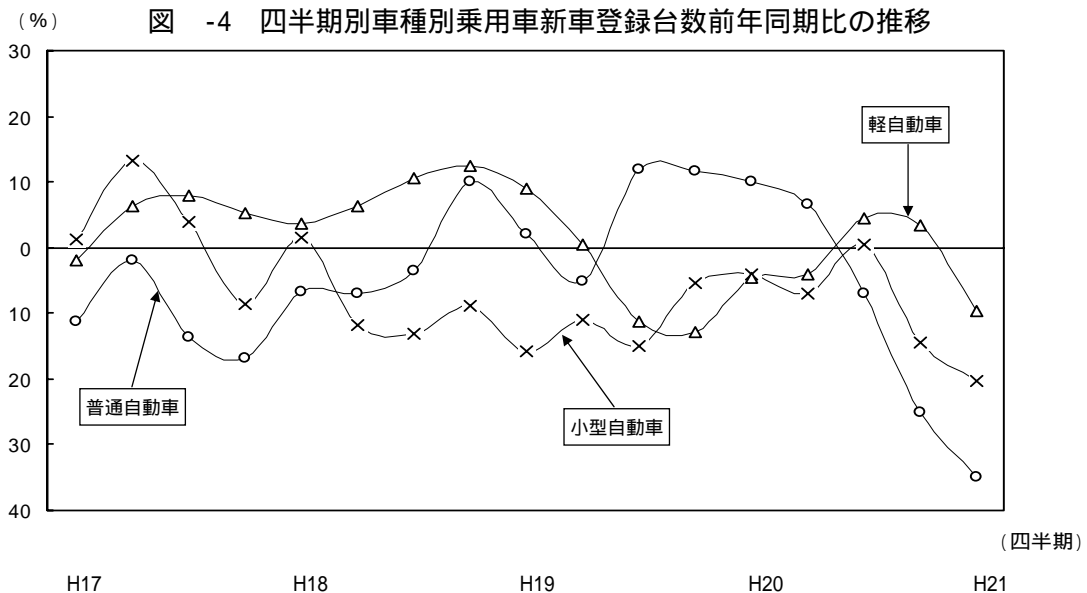
## (2) 乗用車新車登録台数

平成 21 年第 1 四半期(1 月～3 月期)の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は 2 万 1,655 台で、前年同期比が 20.2%の減少となり、9 期連続の減少となった。

車種別にみると、普通車は前年同期比が 35.0%の減少となり、3 期連続の減少となった。小型車は前年同期比が 20.3%の減少となり、2 期連続の減少となった。軽自動車は前年同期比が 9.7%の減少となり、3 期ぶりに減少となった。



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部、全国軽自動車協会連合会)



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部、全国軽自動車協会連合会)

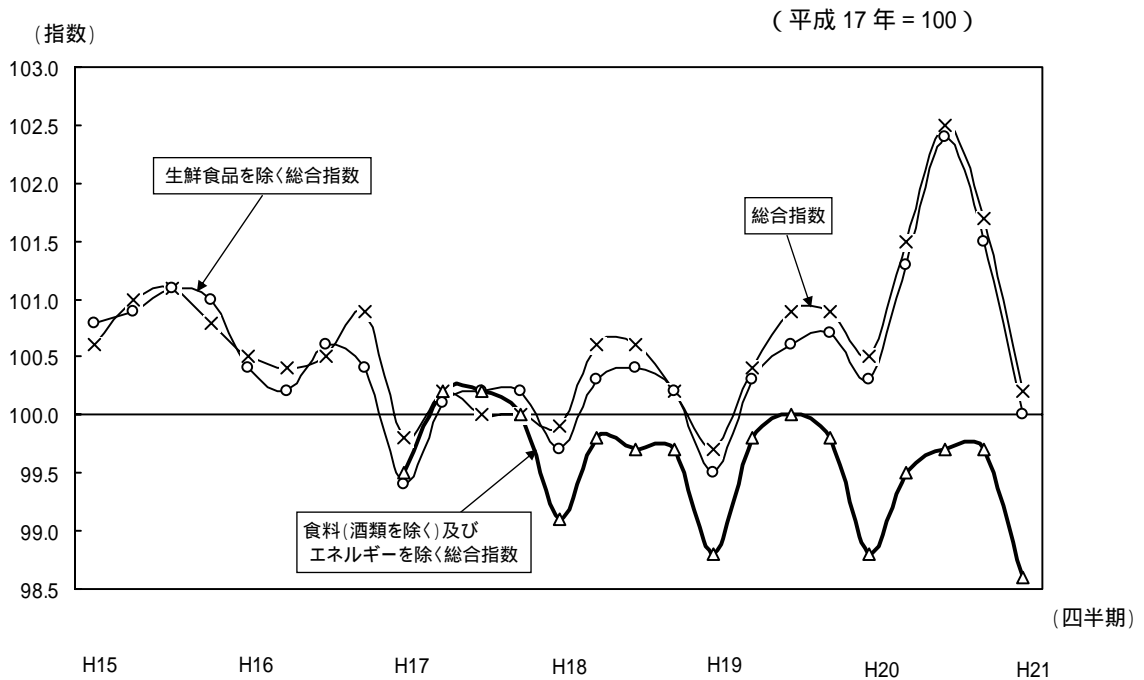


# 物 価

## (消費者物価指数)

平成 21 年第 1 四半期 (1 月～3 月期) の平均仙台市消費者物価指数 (平成 17 年 = 100) は、総合指数は 100.2 で、前年同期比が 0.3% の低下となり、7 期ぶりに低下となった。生鮮食品を除く総合指数は 100.0 で、前年同期比が 0.3% の低下となり、8 期ぶりに低下となった。食料 (酒類を除く) 及びエネルギーを除く総合指数は、98.6 で、前年同期比が 0.2% の低下となり、4 期連続の低下となった。

図 総合指数、生鮮食品を除く総合指数などの推移



(資料:宮城県統計課)

# 雇 用

## (1) 有効求人倍率及び新規求人倍率

平成 21 年第1四半期(1月～3月期)の有効求人数(月平均値)は2万 6,673 人で、前年同期比が 22.3%の減少となった。有効求職者数(同)は5万 5,265 人で、前年同期比が 27.1%の増加となった。有効求人倍率(原指数)は 0.48 倍で前年同期差は、0.31 ポイント低下し、6期連続の低下となった。

新規求人数(月平均値)は1万 1,311 人で、前年同期比が 17.7%の減少となった。新規求職申込件数(同)は1万 6,089 件で、前年同期比が 29.2%の増加となった。新規求人倍率(原指数)は 0.70 倍で前年同期差は、0.40 ポイント低下し、7期連続の低下となった。

図 -1 有効求人数(四半期平均) 有効求職者数(同)及び

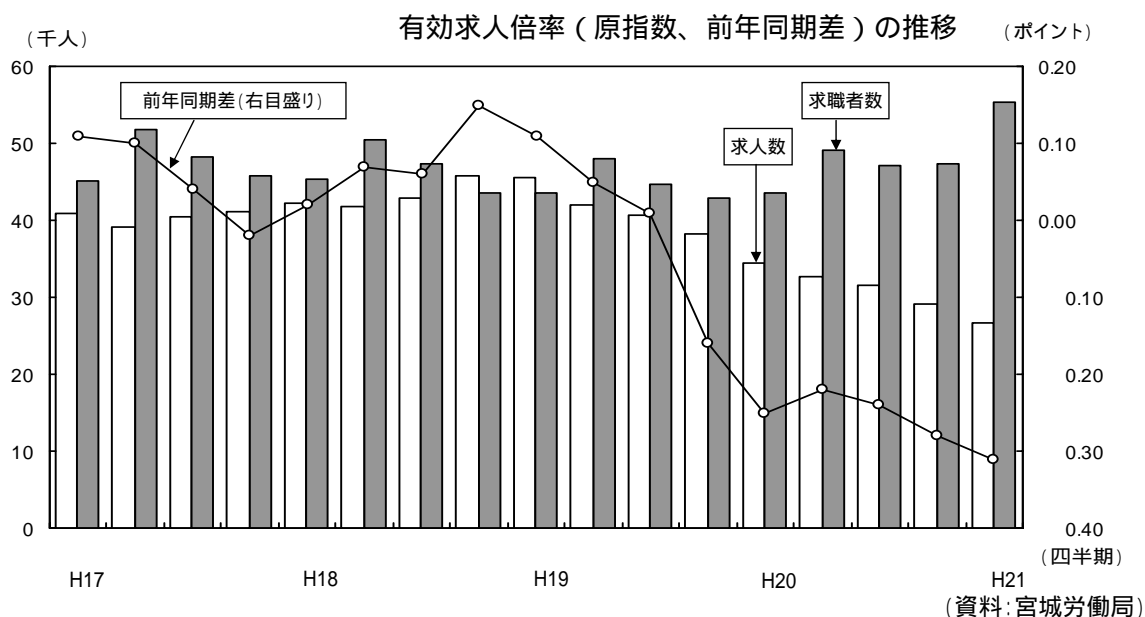
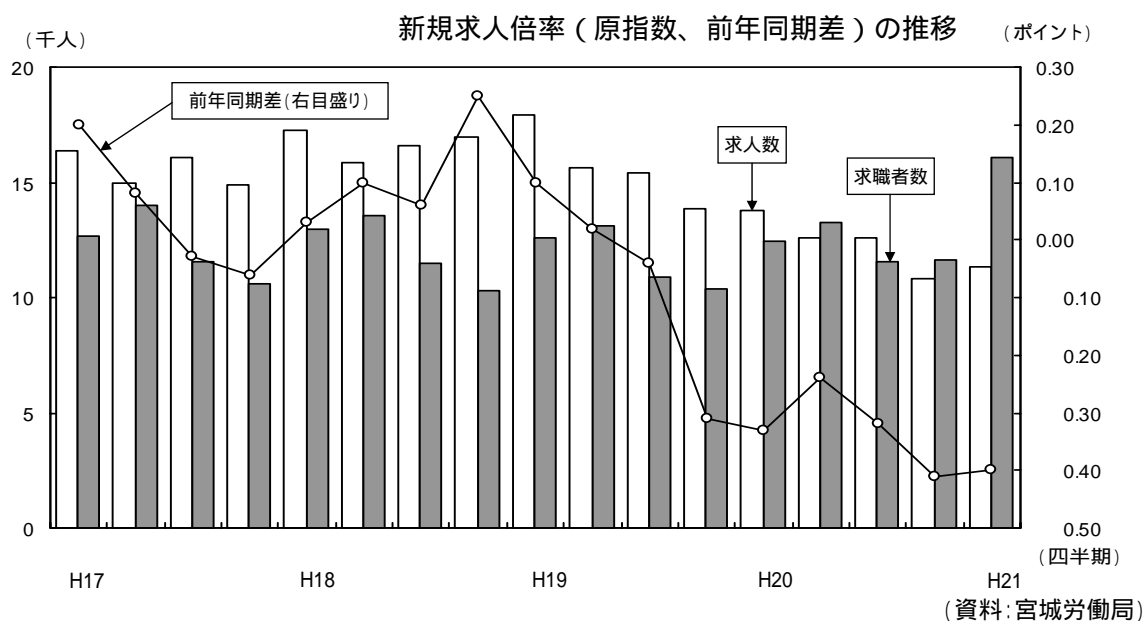


図 -2 新規求人数(四半期平均) 新規求職者数(同)及び

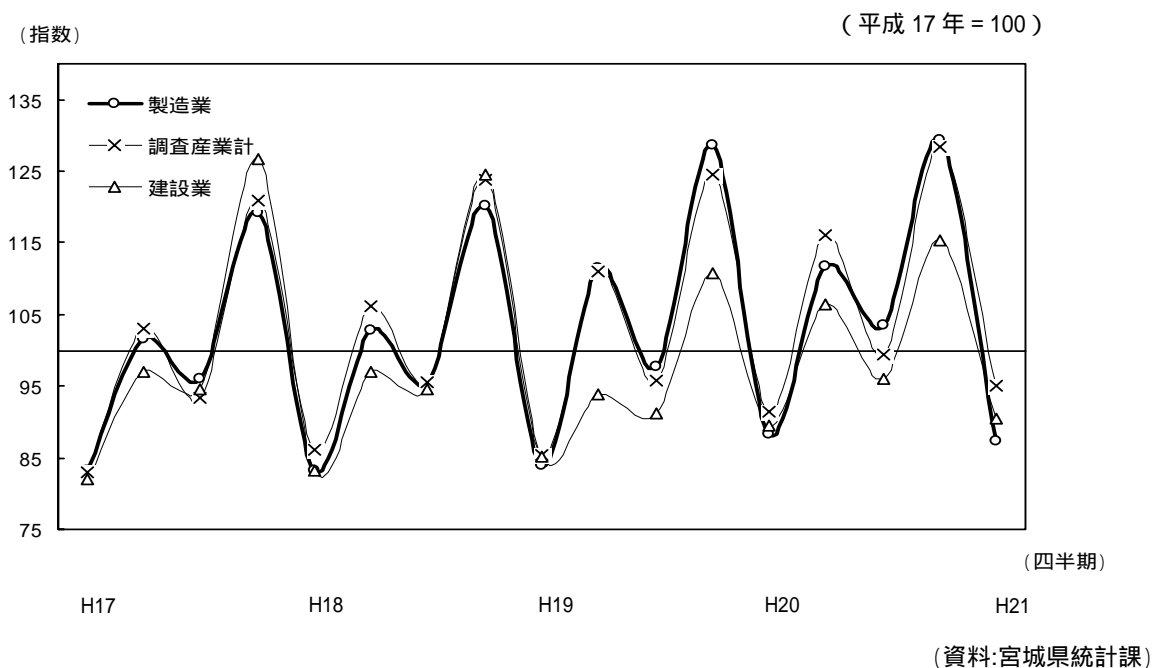


## (2) 賃金

平成 21 年第 1 四半期(1月～3月期)の実質賃金指数(平成 17 年 = 100)の調査産業計(事業所規模 30 人以上)は 95.1 で前年同期比が 4.0%の上昇となり、8期連続の上昇となった。

主要業種別にみると、製造業(事業所規模 30 人以上)は 87.4 で前年同期比が 0.9%の低下となり、10 期ぶりに低下となった。建設業(事業所規模 30 人以上)は 90.4 で前年同期比が 0.9%の上昇となり、5 期連続の上昇となった。

図 -3 四半期別主要業種別実質賃金指数の推移(事業所規模 30 人以上)



# 倒産

## (企業倒産)

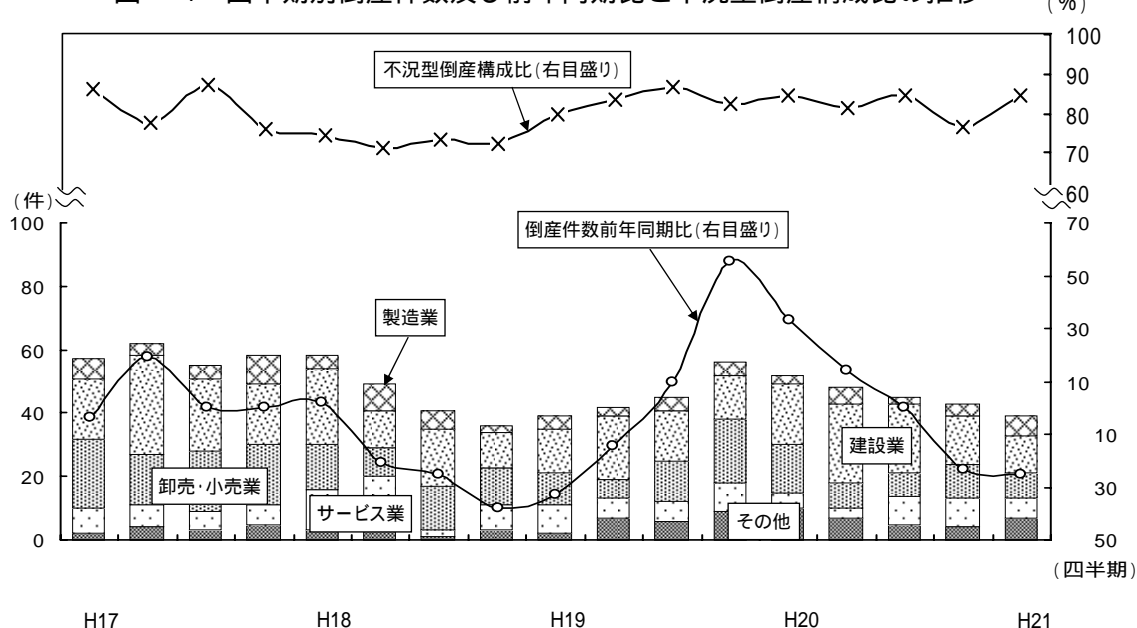
平成21年第1四半期(1月～3月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額1千万以上)の件数は39件で、前年同期比が25.0%の減少となり、2期連続の減少となった。

負債総額は60億6,900万円で、前年同期比が67.1%の減少となり、2期連続の減少となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振、売掛金回収困難、赤字累積)の件数は33件で、3期連続の減少となった。件数の構成比は84.6%で前年同期と同値となった。

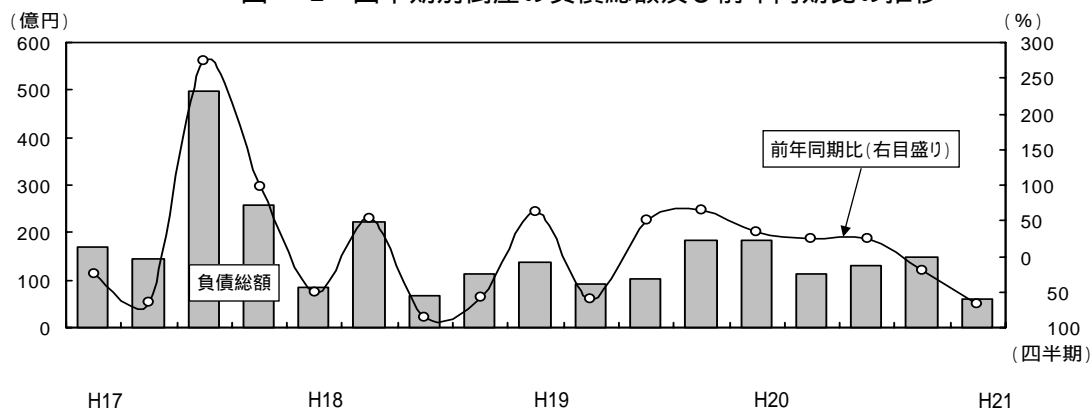
大型倒産(負債総額10億円以上)は2件発生し、前年同期より1件減少した。負債総額は、25億1,000万円であった。

図 -1 四半期別倒産件数及び前年同期比と不況型倒産構成比の推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)

図 -2 四半期別倒産の負債総額及び前年同期比の推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)